

ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.108

2019
2.1

特 集

国際交流と市議会



東根市議会

検索





国際交流元年を宣言した昨年度より、東京オリンピックのホストタウンへ向けての動きや、インゲルハイム・アム・ライン市との交流など、国際交流が活発になってきている。

今回は、本市の国際交流の中心を担っている方々にお話を伺いました。

本当の国際交流とは！ 観光客だけじゃない、外国人労働者などへの対応も必要

参加者の活動は

高橋（一） 協会は今年で14年目。インターナショナルクッキングなどの国際理解事業、花見・芋煮会・コンサート・ホームステイ受入などの交流事業、交流推進課と連携した国際啓発事業を行っている。

高橋（京） 英語・韓国語・中国語の市民ガイド、医療用語集、観光案内を作成した。

村上 10年ぐらいクッキング事業に関わっている。当初は料理

がしたい子どもが多かったが、最近は交流したいという子どもが増えてきた。A.L.T.の先生のおかげだと思う。

ベロニカ 昨年8月から国際交流員として勤務している。今年度は、学校訪問・ドイツハンドボールチームの合宿・ベルリン方面との交流ができた。

アナスティシャ（以下アナ） 英語の授業だけでなく昼休みや給食の時間も子どもたちと過

ごすことが多い。公民館事業への協力や、アフタースクールで英語を教えることもある。教材を自作したりして工夫している。

国際交流の課題は

ミシェル 買い物の際、外国人だからポイントカードの有無を聞かれない。日本語を理解できるのに。

アナ ティッシュ配りの人がいて、いらぬ時は英語を話し外国人になる。(笑)



伊勢 言葉の壁があるのだと思う。これからは、インバウンドの受け入れも多くなってくる。今の子どもが大人になる頃にはそんなこともなくなると思う。

村上 日本は外国人を受け入れ慣れていないところがある。色々な文化を理解する、多様性を尊重する心を育てることが課題。

ベロニカ ドイツとの交流は始まったばかりで、どのような交流が良いのかわからず色々なこ

とをした。これからは焦点を絞っていったほうが良いと思う。
高橋（京） 東根市には現在22カ国からの人がいる。ベトナム、フィリピンから働きに来る方が増えている。地域の受け入れ体制が整っておらず、協会が担っていく部分が大きい。



高橋（一） 「国際交流」はまちづくりの大きな施策。今後本市にも外国の方が、観光や仕事で多くやってくる。早急に快く受け入れ交流していく環境をつくらなければならぬ。協会単独では難しい。交流推進課を核に各種団体と連携して取り組むことが大事。

これからの国際交流

アナ 子どもたちには英語の勉強を諦めずに頑張ってもらいたい。

高橋（京） 日本の子どもは、自分たちがどれほど恵まれているか知らない。世界には、勉強ができる環境にない子がたくさんいる。世界の多様性を知って欲しい。

高橋（一） 本市の子どもたちの多くが世界に出て、体験を通して学ぶ機会を多くもってほしい。

ペロニカ 欧米圏の方は主に観光目的で訪れる方が多い。ベトナム人、韓国人の方などは現在居住しておりさらに増えていく。その子どもたちがどう育っていくかを含め、公的サポートを考えていかなければならない。そ

のためには異文化への理解が大切。



▶ さくらんぼ種飛ばしワールドクラブ
 リ2018に参加した留学生たち

インバウンドや外国人労働者、今後ますます日本に、そして、東根市にも多くの外国人の方々がやってくるのが予想されます。個人レベルでも異文化に対する理解が必要ですし、行政としても対応が急がれます。今後、議会でも議論していく必要性を感じました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

ご協力いただいた皆さん

東根市さくらんぼ
 国際交流協会

- 高橋 一郎さん（会長）
- 高橋 京子さん（副会長）
- 伊勢 博さん（理事）
- 村上 悦子さん（理事）
- 外国語指導助手（ALT）
 コレットさん（オーストラリア）

- カーシャさん（オーストラリア）
- ミシェルさん（アメリカ）
- アナステイシャさん（アメリカ）
- ステファニーさん（イギリス）
- ブリアンナさん（アメリカ）
- 国際交流員（CIR）
 ペロニカさん（ドイツ）

東根市のこんなことが決まりました

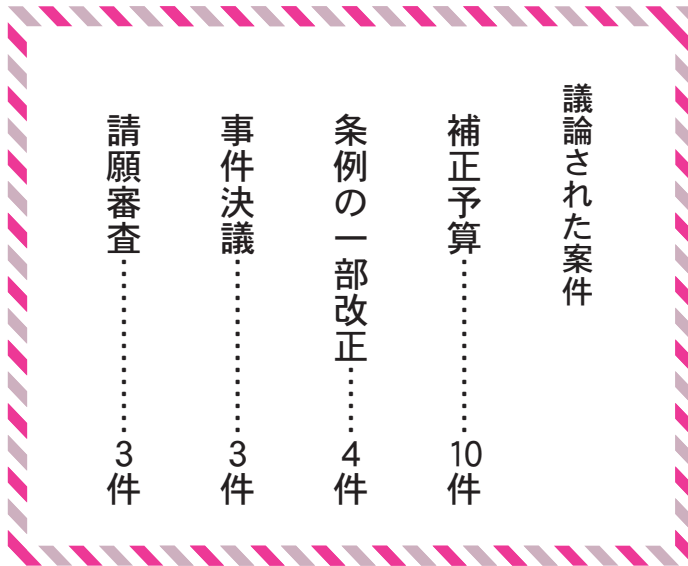
●会期 11月28日～12月13日

【賛否が分かれた議案】

ポイント3

会派名	議員名	請願第16号
ひがしね創生会	細矢 俊博	×
	白井 健道	×
	高橋 鉄夫	×
	清野 忠利	○
鴻志会	浅野目幸一	×
	佐藤 直	×
政清・公明	阿部 綾子	×
	原田 利光	×
	河村 豊	×
	高橋 光男	×
	秋葉 征士	×
東輝会	森谷 政志	欠席
	片桐 勝寿	○
	山科 幸子	○
	清野 貞昭	×
無会派	今野 孝	○
	高橋ひろみ	×
	加藤 信明	議長

この中から3項目をピックアップ!



※詳細は、市ホームページから確認できます。

○=賛成×=反対

※議長は採決に加わりません。

ポイント1



「東の杜」の指定管理者が決まりました

議第79号 指定管理者の指定について

4月にオープンする「東の杜」の指定管理者は、大けやき未来共同事業体（東根市観光物産協会、大けやきフォーラム）に決定しました。
 「和」の文化施設として、多くの市民に活用していただくとともに、外国人を呼び込む観光スポットとしても期待されます。

こんな質疑がありました

議員 公募の結果に至るまでの経緯は。
教育次長 情報収集の意味もあったと思うが、説明会には9団体が来ていた。最終的に、申請は1団体のみであった。
議員 共同事業体となるが、構成団体の連携に問題はないか。
教育次長 施設使用申請の受付・許可、観光案内・交流も指定管理者が担うことになり、問題はない。



ポイント2



福祉灯油購入費等助成事業など
補正予算が可決されました

議第82号 東根市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出にそれぞれ6億646万2千円が追加され、一般会計の総額は210億4千379万2千円となりました。

こんな質疑がありました

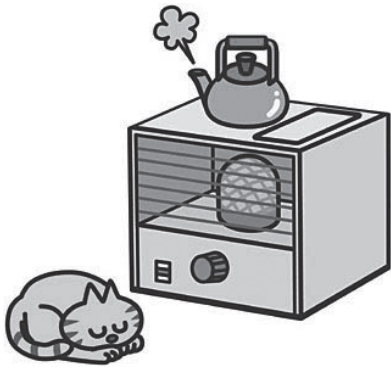
議員 760万円の積算根拠は。

健康福祉部長 対象世帯数1,600世帯に対し、5,000円。申請率を95%とした。

議員 これまでの実績は。
健康福祉部長 概ね70%、80%の申請率であった。平成27年度から29年度の申請件数は、それぞれ、1,237件、1,258件、1,095件となっている。

議員 周知方法は。

健康福祉部長 これまで申請をされた方へ案内を送付し、市報や民生委員を通し



た周知も行う予定。

議員 年度途中の補正予算ではなく、当初予算での計上を望む。

ポイント3



「主要農産物種子法の復活等をもとめる請願」は不採択

請願趣旨（請願第16号）

種子法は、農民の生産・販売活動に大きな役割を果たしてきた。種子法の廃止で、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなる。

審査の経過

委員会審査では、弊害が生じないよう努めるといった旨の付帯決議がつけられていることや、農業者にとってはメリットとなること、県条例を制定したことで、引き続き安価な種子の供給が期待できる等の意見があり「不採択」となり、本会議においては賛成討論、反対討論を経て、賛成少数で「不採択」となった。

賛成討論

国会では、種子生産・普及体制の弱まりや民間企業による種子独占、高価格化など、様々な問題が指摘されたが、政府は明快な答弁ができなかった。農業競争

力強化支援法の「試験研究機関及び都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供を促進すること」との明記が国民の不安感を増幅させている。

反対討論

種子法には、種子の権利を保護する条文はなく、種苗法で保護されているため、「種子法の廃止で、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなる」は、明らかにミスリードである。

主要農作物の優良な種子の低廉かつ安定的な供給や、品質の確保及び安定的な生産を推進し、農業の持続的な発展に寄与するため、県は「山形県主要農産物種子条例」を制定した。

東根市空家等対策計画

国の解体補助事業の導入などあらゆる手段と可能性を検討しながら推進へ！



細矢 俊博 議員



▲空家所有者の適正管理を望む！

空家の実態調査は

議員 市内における空家をどのように調査し、その実態を把握しているのか。
市長 前回の一斉調査から約6年経過した事、あわせて空家等の対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い空家の定義が示された事から今年度再度各地区区長会に依頼し、空家の一斉調査を実施中である。国から示された定義に基づき、明瞭でより実態に即した調査を行っており、調査結果を踏まえ今後の空家等対策に反映させていく。

は、どのような基準や方法で行うのか。

市民生活部長 県で示している「建築物の老朽度・危険度判定基準」に基づき、当該建築物を外観目視により不良度を判定する。

計画の円滑な運用は

議員 計画の運用にあたり、どのような施策を行うのか。

市長 「空家を発生させない」「空家の適正管理を促進する」「管理不全空家等の指導・対策を強化する」の3点を重点として運用に努めている。

対策の取り組みの推進は

議員 空家の解体と利活用の2つは、空家対策の重要事項であり、具体的にどのような取り組みを推進するのか。

市長 現在、空家所有者等に対して、空家の利活用や施策に関するアンケート調査を実施している。アンケートで把握した空家所有

者等のニーズを踏まえ、中古住宅流通等の民間の力、空家等の関係団体からの協力、国の解体補助事業の導入など、あらゆる手段と可能性を検討し推進していく。

議員 「空家バンク」に登録した物件に対し、家財道具等の処分費の一部を助成する制度を提案する。並びに市内の東部地区と西部地区は特に空家が多いため、対策の推進にあたっては、これらの地区を空家対策重点地域に指定し、重点的な対策の強化を要望する。



空家バンク制度のイメージ

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

防災行政の拡充と 学校現場の多忙解消を



今野 孝 議員

防災行政の拡充を

議員 本市は、乱川扇状地の上に立地している。その上、山形盆地西側には活断層の存在も確認されており、洪水や地震への備えを怠ることができない。

本市の自主防災組織の現状について伺う。

市長 市内全域に99の自主防災会が組織されている。各自主防災会においては、防災知識の共有を目的とした学習会や防災訓練が数多

く実施されている。

議員 自主防災会のスキルアップを図るために、防災訓練の拡充を図るべき。

総務部長 自主防災会連絡協議会などを通じて、訓練や学習会の積極的な開催を働きかけていきたい。

議員 災害時の対応について高いスキルを身につけている消防職員の配置は、

総務部長 定数62名に対し、現在の職員数は56名です。今後とも、計画的な人員体制の充実に努めます。

教育現場の多忙解消

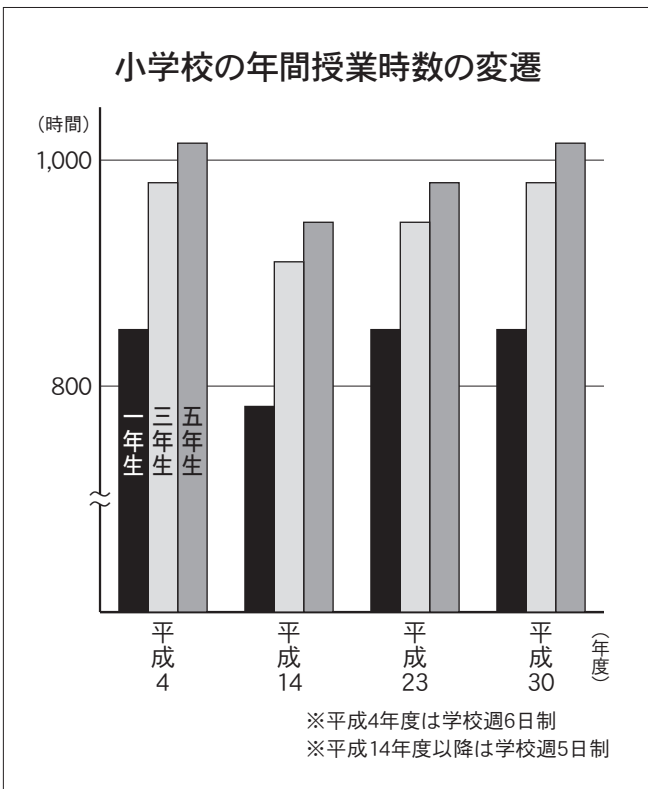
議員 平成14年度の学校週5日制の本格実施に伴い、一旦は削減された学校の年間授業時数が、平成30年度には学校週6日制の時に戻ってしまった。このことが、教育現場の多忙に拍車をかけたと考える。

教育委員会は、教職員の適正な労働に責任を負う当事者と認識しているか。

教育長 市教育委員会は、教職員に対する服務監督を担っており、学校の経営と職務の遂行に当事者意識を持って関わっていかねばならないと考えている。

議員 教職員の勤務実態をどのようにして把握しているか。

教育次長 平成24年度から、11月の指定された一週間において調査を実施している。
議員 年に一回の調査で実態を把握するのは困難である。タイムカードの導入等で、日常的な勤務実態の把握を強く要望する。



国道48号の重要地点

大滝公園周辺整備を急げ！



山科 幸子 議員



▲大迫力の関山大滝！四季の景観バツグン！

大滝公園は本市の東玄関
積極的な利活用を

議員 市長は、6期目当選にあたり国道48号の高速化を最重要施策とした。

国道48号関山街道は、1日1万台が通行する大道脈だ。沿線の大滝公園は、年間35万5千人が訪れる観光名所。もっと公園周辺の整備を図るべきではないか。

市長 大滝公園は市の重要な観光資源として期待している。公園周辺の安全と利用者のために、周辺環境と快適なトイレの維持管理に努めていく。

宮城県はじめ他県から多くの観光客が訪れる。地の利を生かした本市知名度アップの取り組みはどうか。

経済部長 地元ドライブインと連携しながら、本市の周知・PRなど利活用に取り組んでいく。

議員 山形圏と仙台圏を結ぶ重要地点。休憩や観光のほか、気象、道路情報を提供する施設整備など積極的に取り組むべきだ。

快適なトイレは成長戦略の一つ

議員 関山トンネルの県境付近には立ち寄り施設がない。絶景の大滝公園は、休憩場所として絶好地。しかし、トイレは和式で、時代のニーズに合わない。早急な改善が必要だ。

市長 トイレの管理清掃は、愛林公益会に委託している。築25年が経過しているが、耐用年数は50年。現在は更新計画がない。

議員 私が要望した全小中学校のトイレのリニュー

アルは来年度で終了する。日中も暗く、旧態依然とした大滝公園トイレの環境整備を強く要望する。

議員 愛林公益会に委託しているトイレの委託料は、月約5千円。利用者が非常に多く、トイレトペーパーや洗剤などの消耗品代でも厳しい。

市は国道48号整備にあたり、大滝公園周辺の危険防止と維持管理、利活用にも積極的に関わって欲しい。



▲市の重要課題：国道48号の高速化

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。



河村 豊 議員

放課後児童クラブの体制強化は 着実に進んでいる！ 大規模な林野開発計画には 地域住民と市長意見を届ける！

放課後児童クラブの
施設整備計画は

議員 今年度の施設整備
状況と今後の予定は。

市長 小田島学童保育所
と大森第五学童保育所の整
備を実施している。

神町学童保育所の移転整
備を予定しており、現計画
の整備は一段落する。



議員 放課後児童クラブ
の運営、経理、監査などの
体制強化等の進捗は。

市長 専任事務員の雇用、
経理担当者の増員など、組
織体制の強化が図られた。

今年度から3年間で、全
ての児童クラブに対して市
監査委員による監査を実施
予定で、より適正な運営や
資金管理の徹底を図る。

議員 厚生労働省は、支
援単位ごとに支援員を2人

以上配置することを「従う
べき基準」から「参酌すべ
き基準」へと条件を緩和す
る。その対応は。

健康福祉部長 児童の数が
大変少ない時間帯もあるの
で、国からの正式な通知を
待って、現場の状況、現場
の声なども勘案しながら、
必要な条例改正を行いたい。
保育の質の低下や、子ど
もたちにとって環境が悪く
ならないように対応する。

環境影響評価制度に
ついて

議員 本年4月に改正山
形県環境影響評価条例が施
行された。改正点とその影
響について伺う。

市長 環境影響評価対象
事業への発電所の建設事業
の追加や、計画立案段階で
の配慮書の追加などの改正
が行われた。

周辺環境に及ぼす重大な
影響を未然に防止し、持続
可能な社会を構築していく
ためのものと捉えており、
事業者には、より一層事業
の推進と環境保全の balan
スが求められる。

議員 市長意見、住民等
意見について伺う。

市長 評価対象事業につ
いて計画段階より、県知事
は市長の意見を求めるもの
と定められている。また、
事業内容、事業規模によっ
ては周辺の自治体と情報を
共有し、地域住民や有識者
の意見などを踏まえ、県と
連携を図りながら対応する。



一般質問

Q & A

インフラの整備は客観的な判断を!! 学力に偏らず裾野の広い教育を!!



片桐 勝寿 議員

東部地区の下水道区域の 拡充について

議員 第3回定例会で、市長は、本市の発展には人口の増加は不可欠。その方策として国道48号の高速化が必要。仙台圏からの移住者の受け皿となるには、東部地区の下水道区域の拡充が必要という考えを述べられた。しかし、近年の人口減少や節水の浸透を背景に、また今後訪れる管路施設の老朽化への対応も加わり、下水道インフラの持続に対しては大変厳しい見方がされている。区域の拡充には客観的な判断が必要。本市の今後の人口の動向（資料1）や、東部地区の現状（資料2）、市内の不動産需要の動向などを踏まえ考える必要がある。市長の考えは、

市長 今後については第五次東根市総合計画の策定及び都市計画マスタープラン改定の中で検討していく。

議員 東部地区については下水道だけではなく、交通インフラなどを含めて効

率的な整備が必要。旧本町など中心部の空き家によるスポンジ化の危惧も含め検討頂きたい。

教育によるまちづくりについて

議員 教育によるまちづくりの更なる推進として、あらためて外国語教育、理数科目の強化を宣言された。学力重視との印象を受ける。十人に一人ともいわれる発達障がいや、不登校などにも対応した裾野の広い教育が公教育には必要と考える。市長の考えは、

市長 教育によるまちづくりの中で、発達障がい児に対して対策を進めることはもちろんのことであり、困難を抱える児童・生徒の支援は教育を語る上で欠くことのできない視点。教育委員会が取り組みの充実を検討している。

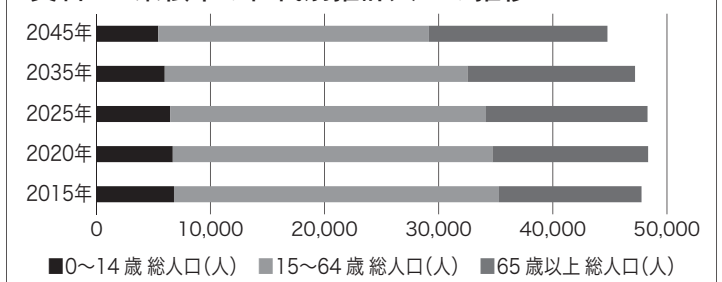
議員 それでも学校に足らない子の大切な居場所となっているハートフルスクール。その内容の充実をお願いする。

資料2 東郷・高崎地区の人口・世帯数の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	増減	
世帯数の推移	東郷地区	996	988	994	997	1
	高崎地区	516	512	507	507	▲9
高齢者一人暮らし世帯の推移	東郷地区	93	98	106	109	16
	高崎地区	44	47	50	63	19
高齢者夫婦世帯の推移	東郷地区	87	87	87	97	10
	高崎地区	51	49	53	54	3
総人口の推移	東郷地区	3,183	3,100	3,044	2,975	▲208
	高崎地区	1,703	1,663	1,615	1,578	▲125
65歳以上人口の推移	東郷地区	1,138	1,146	1,148	1,146	8
	高崎地区	593	603	610	609	16

『数字でみる東根市の概要』より

資料1 東根市の世代別推計人口の推移



国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成30(2018)年推計)より

追悼のことば

(平成30年12月29日ご逝去)



故 森谷政志議員に対し、謹んで哀悼の言葉を捧げます。

平成7年、「小事徹底」「雑事真剣」を理念に、東根市議会議員に初当選し、以来、青年団活動等で培った豊かな経験を活かし、東根市の市勢発展のため、心魂を傾注してまいられました。

議会人としてのあなたは、予算特別委員長、決算特別委員長の要職を歴任し、円滑なる議会運営に努められるとともに、常に冷静沈着、義を重んじ情に厚く、豊かな経験

を踏まえた発言は、市の発展に大きく寄与されました。

会派代表として信望も厚く、新しいことにも積極的に取り組み、強い信念と識見を持つあなたは、これからも市勢の発展に貢献されるものと、大きく期待されておりましたが、突然の急逝は、本市にとりまして、失うところ誠に大きく、かえすがえすも残念でなりません。

あなたの在りし日の面影をしのびつつ、生前のご功績をたたえ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

告別式での議長による弔辞を掲載しました。
謹んでご冥福をお祈り致します。

広域組合議会等概要報告

ピックアップ

● 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会
第3回定例会 11月22日開催

● 北村山広域行政事務組合議会
第3回臨時会 12月21日開催

● 北村山公立病院組合議会
第3回定例会 12月25日開催

北村山公立病院組合議会

平成30年度組合会計補正予算、診療科名称の変更、市町負担金の補正など、4議案について全員異議なく原案のとおり可決されました。

診療科名称の変更については、内科が常勤医師の専門性に応じて「内科」、「循環器内科」、「腎臓内科」に分類されます。また、これまでの「神経内科」は「脳神経内科」に名称変更されます。

診療内容の専門性をより明瞭にすることで、市民にわかりやすくなり、選択の幅が広がることが期待されます。

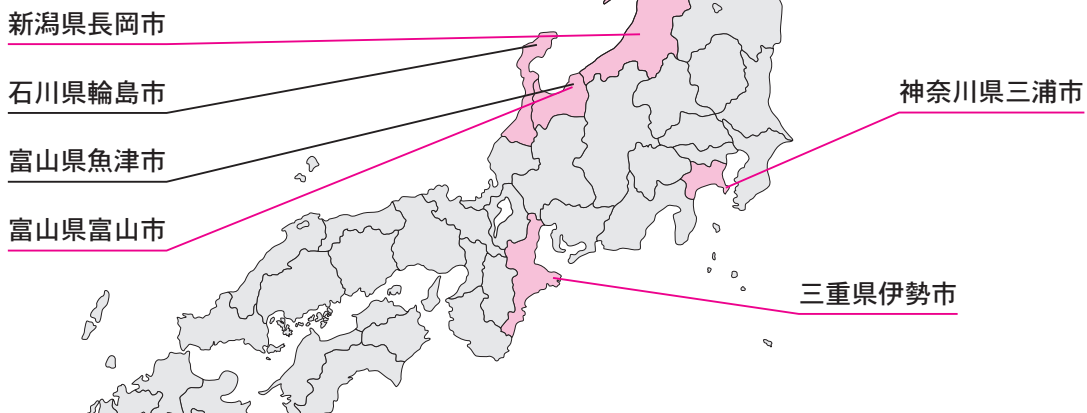
この他、人事院勧告等に伴う給与条例の一部改正、三市一町負担金の補正（東根市は287,300円の減）、外来患者人数の減少見込み等に伴う補正予算なども原案通り可決されました。

行政視察報告

東根市議会では、各常任委員会ごとに所管する行政事務事業についてテーマを設定し、課題に対する調査・研究を目的として先進地視察を行っています。

東根市がさらに住みやすいまちになるよう市当局へ事例紹介をしたり、さらには政策提言などに役立っています。

ここでは、今年度実施した3つの常任委員会の行政視察について紹介します。



総務文教常任委員会 平成30年10月31日～11月2日

シティプロモーションについて

新潟県長岡市

「長岡花火」「錦鯉」「日本酒」「火焰土器」といった、地域にもとからある魅力あるものの中から、特に「長岡花火」の世界ブランド化に力を入れていました。

夏だけでなく、年間を通じて花火を打ち上げるイベントを開催しています。また、夏の「長岡まつり大花火大会」では、市ゆかりの著名人、情報発信力の強い各界の著名人を招待し、彼らによるSNSやブログ等で、地域情報を効果的に発信することができるということでした。

地域の魅力を磨き、対外的に強力にアピールするという戦略的なシティプロモーションを参考にしたいと思います。



富山県富山市

「シティプロモーション」という市外向けの、市の魅力を発信する施策と、「シビックプライド」という市民向けの、地域への誇りや愛着を持たせる施策がありました。「シティプロモーション」では、「富山市立探偵ペロリッチ」という犬のゆるキャラを主人公にしたショートアニメムービーを制作したり、事業者や市民団体などが「富山」をPRする事業を「シティプロモーション事業」として認定、補助したりしていました。「シビックプライド」では、「AMAZING TOYAMA」というキーワードを使い、そのモニュメントを通して見ることで、市の魅力を再発見するということをしていました。

市外へだけでなく、市民に向けた施策にも同等に力を入れていることが感じられ、そのことがまた、市外へのアピールにもつながるということを実感しました。



都市マスタープランについて

三重県伊勢市

伊勢市の特徴的な取り組みとして、まちづくり協議会の活動があげられます。地域住民が主体となって、自ら地域の課題について話し合い、街並みの保全活動などをおこなっていました。

また、伊勢市都市マスタープランは「成長する都市マスタープラン」をうたい、まちづくりに係る計画等が策定されたとき、その内容を素早くプランに反映できる仕組みをとっていました。



都市計画マスタープランについて 三浦市まちづくり条例について

神奈川県三浦市

都市計画マスタープランでは、定住人口と交流人口の増加を目指す「地域活性化ゾーン」や、観光等で交流人口の増加を目指す「交流活性化ゾーン」など、それぞれの地域を目的ごとに分けたまちづくりを行っていました。また、プラン内容を修正する必要がある場合、次回の改訂時期まで待たずに、素早い修正を可能とする仕組みを設けていました。

三浦市まちづくり条例は、市・市民・事業者の責務を明らかにし、市民がまちづくりに積極的に参加できるように、仕組みや手続き等を定めた条例です。良好な住環境の維持、事業者の手続きの徹底、市民と事業者間の係争防止が可能になったとのことでした。



市民バス運行事業について

富山県魚津市

人口・財政規模・面積や地形など本市とよく似た自治体で、運行便数は本市の4倍以上、利用者数も4倍です。

市の負担だけで考えると費用対効果は高いと感じました。本市と比べると利用者1人当たりの経費が安く抑えられており、経費に対する運賃収入の割合も高くなっています。

以前は各地域NPO法人に委託していましたが、現在はタクシー事業者へ委ねていますが、ドライバーは地域ボランティアが担っています。地域のバスという所有者意識が成功の鍵であると感じました。



生涯活躍のまちづくりについて

石川県輪島市

多世代が集う施設づくりを目指し、社会福祉法人・青年海外協力協会とともに事業を進めています。市内には、サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム・フィットネス・カフェなどリノベーションした形で点在しています。

成果として、市内になかった施設ができ地元雇用創出につながったこと、地域コミュニティの意識が高くなったことを挙げていました。

人口減、高齢化に悩む地域の打開策として有効な事業であり、「地域まるごとケア」「ごちゃまぜ」といった発想が今後の地域社会を考えるうえでの大きなヒントになるのではと感じました。





薬とお客さんのかけ橋になるために

東根中部小学校 6年
星川 心花さん

私の将来の夢は薬剤師です。私は、花粉しようなので春や秋に薬をもら



いに行きます。そうすると、薬のことを分かりやすく教えてくれます。そして、わからないことも教えてもらいます。そして、何回か行くうちに私は、お客さんに思いやりを持って関わり、薬の知識が豊富な薬剤師にとっても魅力を感じました。

今年9月にロイヤル病院に職場見学に行きました。行ってみて改めて感じたことは、常に患者さん目線で働いているということ。また、それぞれに合った治りようができるように病院の背骨のような存在として動いていることです。

今後は、職場見学に行った時に学んだ「患者さん目線で考える」ということを「他人目線で考える」という行動につなげていきたいです。そして、自分の「よい所」に加えて、これからもっと成長していきたいです。

平成31年第1回定例会 日程のお知らせ

2月27日から
3月19日まで
開催予定

2月27日(水)
3月4日(月)
3月5日(火)
6日(水)
8日(金)

開 会
本会議
予算特別委員会
本会議 (会派代表質問)
本会議 (一般質問)
本会議 (一般質問)
本会議 (総括質疑)
予算特別委員会
各常任委員会

3月11日(月)
12日(火)
13日(水)
19日(火)

予算特別委員会各分科会
予算特別委員会各分科会
各常任委員会
予算特別委員会
本会議
閉 会

※ 日程は、定例会告示後の議会運営委員会で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

平成 30 年第4回定例会では、延べ 156 名の皆様に議会を傍聴していただきました。第1回定例会もぜひお越しください。

編集後記

干支が戌から亥にかわり既に1カ月、あと数か月で平成から新元号に変わります。第4回定例会では、本会議、各常任委員会で議案や請願に対し賛成、反対の議論が活発に行われたところです。

今回の特集では、国際交流の中心を担っている方々から国際交流についての現況や思い等を自由に話していただきました。特に、外国人から見た交流のあり方、考え方は、私たちにどう学ぶ点が多く、今後国際交流を推進していく上での参考となりました。

東根市議会は、市民に開かれた議会を目指し活動しています。それらを市政に反映していくことはもとより、これからも多様な立場の方々との会話や体験を通じて、皆様に関心をもっていただけるような編集に努めてまいります。

議会広報委員会

- 委員長 白井 健道
- 副委員長 片桐 勝寿
- 委員 山科 幸子
- 委員 河村 孝豊
- 委員 今野 鉄夫
- 委員 高橋 孝夫
- 委員 高橋 ひろみ

問い合わせ (議会事務局) TEL (42) 1111 (内線4111) ・ FAX (43) 1178
E-mail: gikai@city.higashine.yamagata.jp

